

輝く熊本コース

一人一人が輝く熊本へ ～経済・感染症・災害・食料・環境 5つの安全保障～

熊本県は地震や豪雨などの大災害、新型コロナウイルス感染症といった多くの困難の中、地方創生に向けて取り組んできました。蒲島県政の4期目に、困難を乗り越えた先にある、国内外への貢献のために「5つの安全保障」を掲げ、熊本の強みを生かした将来像を描きました。

第1回

経済の安全保障

～新生シリコンアイランド九州の実現～

1月16日(火)

熊本県企業立地課 半導体立地支援室

室長 吉仲 範恭 先生

世界的半導体メーカーの進出により大きく変化する熊本の現状や、さらなる半導体関連企業の集積に向けた熊本県の取組について紹介。



第2回

感染症に対する安全保障

～ワクチンについて正しく学ぼう！～

1月23日(火)

KMバイオロジクス株式会社

研究開発推進部 宇野 信吾 先生

免疫とワクチンについて説明をされた後、個人防衛と社会防衛のためにウイルス感染症対策のワクチン開発の製造工程についても紹介。



第3回

災害に対する安全保障

～地震・豪雨災害の教訓の発信～

1月30日(火)

熊本県危機管理防災課 危機管理防災企画監

三家本 勝志 先生

過去の災害からの教訓を学び、普段の「避難予行演習」の重要性と、自助・共助・公助の意義と心構えについて分かりやすく説明。



第4回

食料の安全保障

～持続可能な農業の実現～

2月6日(火)

熊本県農業技術課 みどりの農業推進班

主幹 古閑 三恵 先生

県が取り組む安全・安心な食糧の生産と流通拡大方法や、環境負荷が小さい農業を支える技術、地下水と土を育む農業の必要性を紹介。



第5回

環境の安全保障

～2050年県内CO2排出実質ゼロの実現に向けて～

2月20日(火)

熊本県環境立県推進課 ゼロカーボン企画班

主幹 黒木 香織 先生

地球温暖化の影響や対策と、CO2(二酸化炭素)排出削減のため県が取り組んでいる事例や、家庭のできる行動について紹介。



熊本県環境立県推進課 地下水企画班

主幹 北之園 健憲 先生

熊本の豊かな地下水を守り、経済発展と水保全を両立させるための県条例や各団体の取組を紹介。取水量と栄養量のバランスも解説。



受講生の感想

- ・講師が各部門を重点的に取り上げて話してもらったので、知識が広がった。熊本県発展のため、尽力頂き誠にありがとうございます。
- ・いろいろと勉強になりました。TSMCや感染症対策、農業の取組（グリーン農業）、災害対策、CO2削減などの安全保障問題に多くの課題があり、県や民間が取り組んでいることがわかりました。
- ・身近な熊本県についての講座でとても興味深く拝聴しました。
- ・断片的には知っていたことが、系統立って話を聞けて良かった。

